

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	33
2. 大学等名	関西国際大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	人間科学部、教育学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	(397.5文字)
<p>大学の評価は産業界等には信頼されておらず、評価の観点と尺度とが共有されていないという問題がある。関西国際大学では、以前より主体的学修者を育成するための様々な取組を実践してきている。本事業は、大学と産業界等との評価の観点と尺度の共有を具現化することを目的として、産業界等での構成員（社員）評価と大学の評価との関連性や評価方法について、いくつかの事業所と連携してすり合わせていく。</p> <p>すでに、学生の学外活動を全学的に教科科目として選択必修化をしている。それを受けて、本取組ではe-ポートフォリオ（学修成果）とKUIS学修ベンチマーク（社会人基礎力や基礎的汎用的能力の達成目標）との連携強化を進める。それにより学修成果の可視化を進め、産業界を含めた外部評価を受けて評価の観点と尺度のマッチングを行う。その結果を教育プログラムに反映させていくサイクルを繰り返すことで、学生個々人の自己評価能力の向上も目指す。</p>	